

科目名	看護マネジメント			ナンバリング	INE352	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	スーディ神崎和代	担当教員	鈴木久美子				

授業の概要	病院、施設、在宅などの様々な状況下で生活を送る人々に対して、看護サービスを効率的・効果的に提供するために必要な看護マネジメントの機能およびその際に必要となる社会資源について学び、複雑で多様なニーズを持つ対象者に対する看護マネジメントのあり方、地域における看護マネジメントのあり方について学ぶ。						
到達目標	1. 看護管理の基礎となる理論を理解できる。 2. 看護ケア提供システムについて理解できる。 3. 看護サービスマネジメントとリーダーシップについて理解できる。 4. 人的資源活用法について理解でき、将来看護職として自己の能力を向上させる必要性を理解できる。 5. リスクマネジメントと看護の質管理の必要性とその内容について理解できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義で配布される資料を自分の言葉で説明できるようになることを目標として学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing:根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 看護管理の基礎となる理論を理解できる。 2. 看護ケア提供システムについて理解できる。 3. 看護サービスマネジメントとリーダーシップについて理解できる。 4. 人的資源活用法について理解でき、将来看護職として自己の能力を向上させる必要性を理解できる。 5. リスクマネジメントと看護の質管理の必要性とその内容について理解できる。	1. 看護管理の基礎となる理論を説明することができる。 2. 看護ケア提供システムについて説明できる。 3. 看護管理の実際を学び、看護部門を構成する看護職員の責務と役割を説明できる。 4. 人的資源活用法について説明でき、将来看護職として自己の能力を向上させる方法が具体的に表現できる。 5.リスクマネジメントと看護の質管理の必要性とその内容について説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					90%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%
欠席が1/3以上:定期試験受験不可						○	

課題、評価のフィードバック	期末試験解答用紙は学生から要請があったら、いつでも開示できるように準備しておく。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス 看護におけるマネジメント	マネジメントに含まれる要素、看護マネジメントの必要性を解説する	
	第2回	看護ケアシステム	組織理念に基づく組織構造、看護ケア提供システムについて解説する	
	第3回	看護サービスのマネジメント	看護サービスのマネジメントについて解説する	
	第4回	トップマネジメント、看護職者のリーダーシップ	病院のトップマネジメントの実際・組織理念・看護提供システム・人的資源活用について解説する	
	第5回	人的資源活用法	看護における人材育成の意義、キャリア開発の視点から個人と組織の関係について解説する	
	第6回	看護の経済的側面	看護の経済的側面について解説する	
	第7回	リスクマネジメント	チーム医療に基づく医療事故防止の重要性とリスクマネジメントの実際について解説する	
	第8回	看護の質管理	看護の質評価と改善について解説する	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	期末試験を実施する。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。		
授業外学習の指示		配布資料を中心に講義内容を復習する。不明な点は必ず、教科書で調べて確認するか、教員に質問する。関連する国家試験の過去問を解いてみる。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	講義内で配布する資料を参考にすること
参考書	適宜、紹介する
参考URLなど	特になし
その他	1/3以上の欠席者は期末試験受験不可